



たましゅう
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和2年度 玉村小学校
学校だより 第45号
2021年3月24日発行

卒業おめでとう



❖本日24日は、新型コロナウイルス感染防止措置で卒業生と保護者、教職員だけの参加となりましたが、6年生にとって「小学校生活最後の日」とともに「門出の瞬間」でした。71名の「玉小っ子」達が玉村小を巣立ちました。式の間は緊張していたと思いますが、壇上では、担任の三谷先生、入澤先生、真下先生の呼名に大きな声で返事をし、自分の思いを明快に発表し、堂々と卒業証書をもることができました。着席している姿勢の良さやしっかりとした起立と礼。そして、最後の6年間の感謝の気持ちを表した「ことばと歌」は素晴らしかったです。さすが玉村小の6年生です。立派でとても輝いていました。式に参列された保護者の皆様方もさぞかし我が子の晴れ姿に感動したことと思います。

❖6年生の保護者の皆様には、これまで、多くのご支援やご協力をくださり大変ありがとうございました。子ども達の素晴らしい門出を祝福し、これからの中学校での活躍を祈っています。また、ご臨席くださった永井PTA会長さんをはじめPTA本部役員の皆さん、ありがとうございました。今後とも玉村小学校の卒業生を含め、子供達を優しく見守って下さるようお願い申し上げます。卒業記念品として制作された教室表示板は、新年度から大切に使用させていただきます。令和2回目となる卒業生の作品だな〜と大事にしていきたいと思えます。

***** 式辞の中で6年生に贈った「はなむけ」の部分を紹介します *****

❖それでは、卒業生の皆さんへはなむけの言葉を贈ります。「自分の腕を磨く」ことです。これから中学生になっても、自分の腕を磨き続けてください。得意なこと、苦手なこと、新しいことなどなど。磨くものはたくさんあるはずですよ。自分が磨きたいことに向かって、真剣に努力すれば、必ず得るものはあるはずですよ。中学へ入学するまでに、何を磨けばよいのか、じっくりと考えておいて下さい。



さて、日本水泳界のヒロインとして東京オリンピックでの金メダルが大いに期待されていた「池江璃花子」選手は皆さんもよく知っていると思えます。

当時、十八歳という若い選手でありながらも、大きな期待をされていました。しかし突然、白血病という難病を告知され、水泳から離れ、約十ヶ月の間、治療に専念しなければならなくなったのです。

池江選手の素晴らしさは、大変な闘病生活が始まった時から、「死にたい気持ちを振り切る前向きな姿勢」や「生きている事への感謝の気持ち」を持ち続けたことです。

世間では新型コロナウイルスで大変な状況でしたが、「ともに乗り越えていきましょう」と素晴らしいメッセージも発信しました。そして、2024年のパリオリンピックでメダルをとることも宣言したのです。

今では、治療を続けながら本格的な練習も再開し、出場した大会でも上位入賞するようになりました。池江選手の真の強さは、たとえ病気にかかっても強い気持ちで生きることを貫き、努力を積み重ねていることです。そして、多くのサポートや援助には、謙虚な姿勢を表し、感謝を忘れていないことなのです。

みなさんも、こんな池江選手のように、自分自身が努力を重ね、支え合う仲間も含めて、多くの人達に感謝しながら、自分の腕を磨き続けていくことはできるはずですよ。

そして、どんな時でも、誰にでも感謝の気持ちを忘れないことです。皆さんを今日まで大切に育てて下さった家族、温かく見守って下さった地域の方々、六年間、色々なことを教えてくれた先生。

もちろん、これからの長い人生の中で、皆さんを支えてくれるたくさんの人達にも、これからも、感謝の気持ちを忘れず、大きく、高く、未来に向かって羽ばたいて行って欲しいです。

👑👑👑 最後のひとコマ、卒業式の6年生の様子 👑👑👑



6年生卒業式予行練習 5年生会場準備 23日



国歌の練習

◆卒業式前日の23日の1～2校時に、6年生による卒業式予行練習を行いました。これまで練習してきた総仕上げです。三谷先生から開始の話が終わると早速練習です。入場、開式、国歌・校歌斉唱、学事報告、卒業証書授与、校長式辞、PTA会長祝辞、来賓紹介、祝電披露、町・PTAから記念品授与、卒業生から記念品贈呈、卒業生のことばと歌、卒業生保護者代表謝辞、閉式、退場までを確かめました。新型コロナウイルス感染症対策で昨年度に続いて今回も在校生の参加はなく、6年生だけの練習でしたが、真剣に集中してしっかりと取り組みました。返事や自分のことば、証書授与の礼の仕方などを念入りに行い、次日の本番に備えました。



玉小校歌の練習



みんなでシート拭き

◆23日の午後は、5年生達による卒業式会場等の準備を行いました。毎年卒業式の準備は5年生の役目です。体育館の準備がメインですが、児童玄関や校舎内外の清掃や看板の飾り付けなどなど。みんなてきぱきと自分たちの役割をこなし、立派な卒業式会場ができあがりました。シートやパイプ椅子もきれいに雑巾掛けし、体育館入口や通路、トイレも清掃しました。パンジーの花のプランターを最後に体育館に運び入れて、花道やステージ前に並べました。5年生が頑張ったお陰で、素晴らしい卒業式の会場が完成しましたね。本番には参加できなく残念ですが、次期玉村小学校のリーダーとして、しっかりと仕事をしてくれました。大いに期待していますよ。5年生の皆さんありがとう。



紅白幕をセット



教室表示板

◆今年の卒業生の手作りの卒業記念品は、教室の窓側に吊す「教室表示板」です。1人1人が丁寧に担当した文字や数字を板に彫って彩色し、台につなぎ合わせた作品です。卒業式会場の保護者席の横に展示しておきましたが、皆さん見て下さいましたか。4月からは、新しい教室の窓側に吊して飾ります。大事に使わせてもらいます。在校生の皆さんもきっと喜んでくれると思います。6年生の皆さん、制作ありがとうございました。

こうちょうのひとりごと

■今回も玉小あやひの会の有志の皆様が、卒業式前日夕方、体育館西側玄関内に「満開の桜の木」を飾って下さいました。毎年、当日の朝、西玄関から入る保護者の皆さんや卒業生達は「わ〜」っと感動してくれています。卒業式の翌日、会場の片付けをする5年生達も目にしてくれますね。入学式まふとなると、だいたい花が落ちますが、若い先生達で貼り直して入学式を迎えています。

